

第6回 マックス『心のホッチキス・ストーリー』大募集

～毎日の生活の中で、「あなたが今、ホッチキスしたいこと」をお寄せください～

マックス株式会社では、“あなたが今、ホッチキスしたいこと”を募集します。

何気ない生活の中にある、「今の幸せ」「家族の結束」「人との付き合い」「恋人との思い出」など、いつまでも心にとどめておきたい想いや出来事などをお寄せください。

特に優れた作品1点を『マックス・心のホッチキス大賞』とするほか、高校生・中学生・小学生以下の各部から『マックス・U-18大賞』として3点、優秀作品として『マックス賞』を5点選び、表彰します。

前回は、過去最多となる5,776件の応募があり、幅広い年齢層から作品が集まりました。日常の中ににじむ優しさや思いやりが伝わるものや、SNS を通じた心温まる親子の交流といった現代らしいものなど、多様な作品が寄せられました。

募集概要は下記の通りです。

◇ 「心のホッチキス・ストーリー／あなたが心にとどめておきたいこと」募集要項 ◇

応募資格:どなたでもご応募いただけます。

募集内容:あなたが心にとどめておきたいことや、つないでおきたいこと。

(例えば、「今の幸せ」や「家族の絆」「友だちとの思い出」など、どんなことでも結構です)

募集期間:平成27年10月1日(木)～平成27年12月8日(火) ※当日消印有効

応募方法:原稿は400字程度(超過、未満可)。自作未発表作品に限ります。

表 彰:

マックス・心のホッチキス大賞	1点	ギフト券5万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(高校生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(中学生の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス・U-18大賞(小学生以下の部)	1点	図書カード1万円とマックス製文具セット(4千円相当)
マックス賞	5点	図書カード5千円とマックス製文具セット(4千円相当)

※マックス・U-18大賞は、18歳以下の応募作品が対象です。

応募先:当社ホームページの応募専用フォームもしくは郵送で受け付けます。

＜当社ホームページの場合＞

https://wis.max-ltd.co.jp/enq/story6_form.html ※平成27年10月1日より開設

＜郵送の場合＞

住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、ペンネームを明記の上、以下の宛先までご応募ください。

〒103-0027 日本郵便株式会社 日本橋南 郵便局留

マックス「心のホッチキス・ストーリー」事務局 係

※「日本橋南」と「南」が付きますのでご注意ください。

審査発表:当社にて厳正な審査をし、入賞者には直接通知し、ホームページ上に掲載いたします。

発表は平成28年2月下旬を予定しております。

著作権:応募作品の全ての著作権(著作権法第27条および第28条に定める権利を含む)は、マックス株式会社に帰属いたします。また、応募作品は、返却いたしません。なお、応募作品は、出版、映像化(映画・テレビ・DVDなど)、舞台化、放送、ネット配信などの方法で利用することがあります。

第5回 心のホッチキス・ストーリー受賞作品

【マックス・心のホッチキス大賞】 愛知県 女性 18歳 ペンネーム:ルイス

毎週金曜日は、父と二人で銭湯に行く。それが私と父の習慣だった。学校から超特急で帰り、早めの夕食をとってから、タオルを片手に車に乗る。大好きな歌を熱唱する父は、いつも楽しそうだった。

その日の金曜日も、いつも通り銭湯に行って、湯上がりのアイスを食べながら帰り道を走っていた。一通り歌も終わり、家に着く直前、父は何気ない口調で、出張に行くからしばらく銭湯には行けないと言った。いつまで行くの？と聞くと、ん～、わかんない！とタレントのものまねでごまかす父。その軽さに流され、私もオッケー！なんてものまね返しをした。

それから父は、半年近く戻らなかった。父が出かけてから一ヶ月後に聞いた話で、その訳がわかった。父の体は癌に侵されていた。幸い転移は見られなかったが、聞かされた当初、私はショックで学校を休んでしまった。そして、車の中での会話を思い出した。あの時、父は私を不安にさせないために、わざと明るく振舞っていたのだ。自分が大きな病をかかえていながら、尚、私のことを考えてくれていたと知ると、涙が止まらなかった。

それから半年後、帰ってきた父は、前よりも大分痩せていた。涙腺を崩壊させる私の頭をなでながら、『風呂、行くか』と父はたずねた。帰って来た日は金曜日。今までで一番幸せな金曜日だった。

初となる外国人の方による入選作品

【マックス賞】 神奈川県 女性 20代 ペンネーム:ピンク

母国から離れた一人っ子の私、今、日本に住んでいる。母国では母と二人で暮らしていた。父、おばさん、おじさんは別居だったから、会う機会があまりなく、会話も少なかった。だが、日本へ留学に来てから、ほぼ毎日家族と電話をしている。一人暮らし生活のなかで、病気になったり、辛いこともあったりしたが、言わなくても向こうが分かるらしい。この間、長野県で起きた地震はタイでもニュースになった。その時、年に2～3回しか話さない父から電話が来た。「地震あったら、大丈夫かい」、「勉強がんばれ」と父が言った。あまり長い会話ではなかったが、「父も私のことを心配してくれたんだ」と私は思いはじめた。心細くなった時、母国で待つて応援してくれた家族のことを思い出したら、また頑張れる。来年卒業し、帰国したらちゃんと父やおばさん、おじさんに連絡し、心配をさせないと決めた。「家族がいるから頑張れる」という言葉は本当だと実感した。

【マックス製文具セット】



《本件に関するお問い合わせ先 **マックス株式会社**

報道について：商品企画部 事業PR TEL. 03-3669-8115

報道に関するお問い合わせは、[こちら](#)まで